

令和4年版

消防年報



栄町消防本部

は し が き

この年報は令和４年４月１日現在、栄町における消防現況及び令和３年度中の消防業務に関する事項について収録し、今後の行政における合理的運営と消防力の充実育成に資するために編集したものです。

なお、統計年については、令和４年４月１日の数値を記載し火災及び救急は暦年としました。

令和４年４月

栄町消防本部

栄町民憲章



水と緑にめぐまれた栄町は、先人たちの残した歴史にかこまれている私たちのふるさとです。

私たちは、このすばらしい自然と伝統を守りながら、豊かで明るい田園観光都市をつくりあげるため、この憲章を定めます。

1. 歴史と自然を守り
美しいまちをつくりましょう。
1. 他人をおもいやり
住みよいまちをつくりましょう。
1. 若い力をそだて明るい
未来のまちをつくりましょう。
1. 働くことによるこびを感じ
豊かなまちをつくりましょう。
1. スポーツに親しみ健康で
すこやかなまちをつくりましょう。

昭和61年10月1日制定

目 次

総務編

栄町の位置・地勢	1
栄町消防の歩み	2～5
消防組織図	6
消防財政	7
事務分掌	8～9
消防職員配置状況	10

予防編

火災発生状況の推移	11
防火対象物の現況及び査察状況	12
危険物施設数量別設置状況	13

警防編

救急活動状況の推移	14
月別出動件数及び搬送人員	15
月別救急支援・P A連携出動及びドクターヘリ要請件数	16
救助出動状況	17
救助資機材保有状況	18
消防本部（署）車両配備状況・消防無線施設	19
消防水利状況	20
応援協定等の状況	21～22

消防団編

消防団員報酬（年額）・消防団員各種手当・消防団出動状況	23
階級別定員数及び実員数・分団別人員配置状況	24
消防団車両保有状況	25
消防団施設概要	26

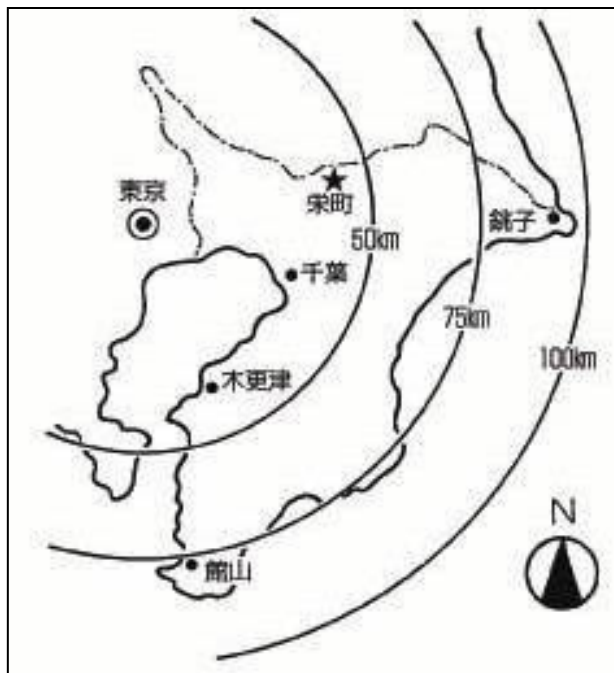
総務編



栄町消防出初式

栄町の位置・地勢

千葉県北部、利根川流域に位置し、東は成田市、南は印旛沼、西は印西市、北は利根川をはさんで茨城県に接し、東京都心より45キロメートル圏に入り、千葉市からは35キロメートルの距離で、成田国際空港へは10キロメートルのところに位置しています。総面積は、32.51平方キロメートルで東西に約12キロメートル、南北に約5キロメートルの東西に細長く、東部は一部に高台で、山林や畑が多く南部及び西北部は平坦で豊かな水田地帯が広がっています。近年、安食駅を中心とした一部周辺区域は、首都圏近郊の住宅地として社会経済環境は大きく変わりつつあります。



面積：32.51 km²

位置：東経 140° 14' 50"
北緯 35° 50' 15"

(令和4年4月1日現在)

年別 区分		平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
世帯数		8,951	9,009	9,043	9,110	9,155
人口	男性	10,251	10,142	10,009	9,917	9,836
	女性	10,657	10,534	10,375	10,264	10,165
	合計	20,908	20,676	20,384	20,181	20,001
人口密度(人/km ²)		643.1	635.9	627	620.7	615.2

年	月	概	要
昭和30	12	安食町と布鎌村の合併に伴い消防団も同時に合併する 初代消防団長に麻生新平氏就任 消防団員条例定員数740名とする	
昭和35	4	第2代消防団長に高橋竹重氏就任	
昭和38	2	第3代消防団長に大木勝三氏就任	
昭和39	3	第4代消防団長に大野勘助氏就任	
昭和40	7	千葉県広域消防応援協定を締結する	
昭和42	4	第5代消防団長に河内稻吉氏就任 消防団員条例定員数688名とする	
昭和44	4	成田市と救急業務応援協定を締結する 消防団員条例定員数587名とする	
昭和45	6	第6代消防団長に野平幸男氏就任	
	12	役場分団を結成する	
昭和48	12	印西地区消防組合と救急業務応援協定を締結する	
	4	消防団員条例定員数444名とする	
	7	利根川水系連合(1都6県)水防演習を布太地先で挙げる	
昭和50	4	第7代消防団長に杉田甚衛氏就任	
昭和53	3	新東京国際空港消防相互応援協定を締結する	
昭和54	4	第8代消防団長に近藤博氏就任	
昭和59	4	消防団員条例定員数400名とする 組織改革により分団制から部制を導入(6分団24部) 救急隊発足の為、職員の研修を開始する	
昭和60	4	役場総務課に救急準備室発足	
	8	日本船舶振興会より救急車(2B型)1台寄贈される	
昭和61	4	救急隊発足に伴い職員1名採用	
	5	消防救急指令装置を設置 無線電話装置(基地局[消防さかえ]・移動局[救急さかえ1])を設置	
	6	役場新庁舎完成 成田市・印西地区消防組合と消防業務応援協定を締結する	
	7	役場総務課に救急業務係を設置 救急業務を13名で開始する。救急車1台及び指揮車1台を配置 救急自動車(2B型)1台を増車し配置する 無線電話装置移動局(救急さかえ2・さかえ指揮1)を設置	
昭和62	4	消防防災課発足 職員18名となる	
	11	無線電話装置移動局(さかえ1)を設置(役場分団可搬式ポンプ積載車に設置)	
昭和63	4	職員21名となる 消火活動を開始する(救急業務兼務)	
	5	利根川水系連合(1都6県)水防演習を出津地先で挙げる	
	8	消防団各消防車両に受令機を設置	

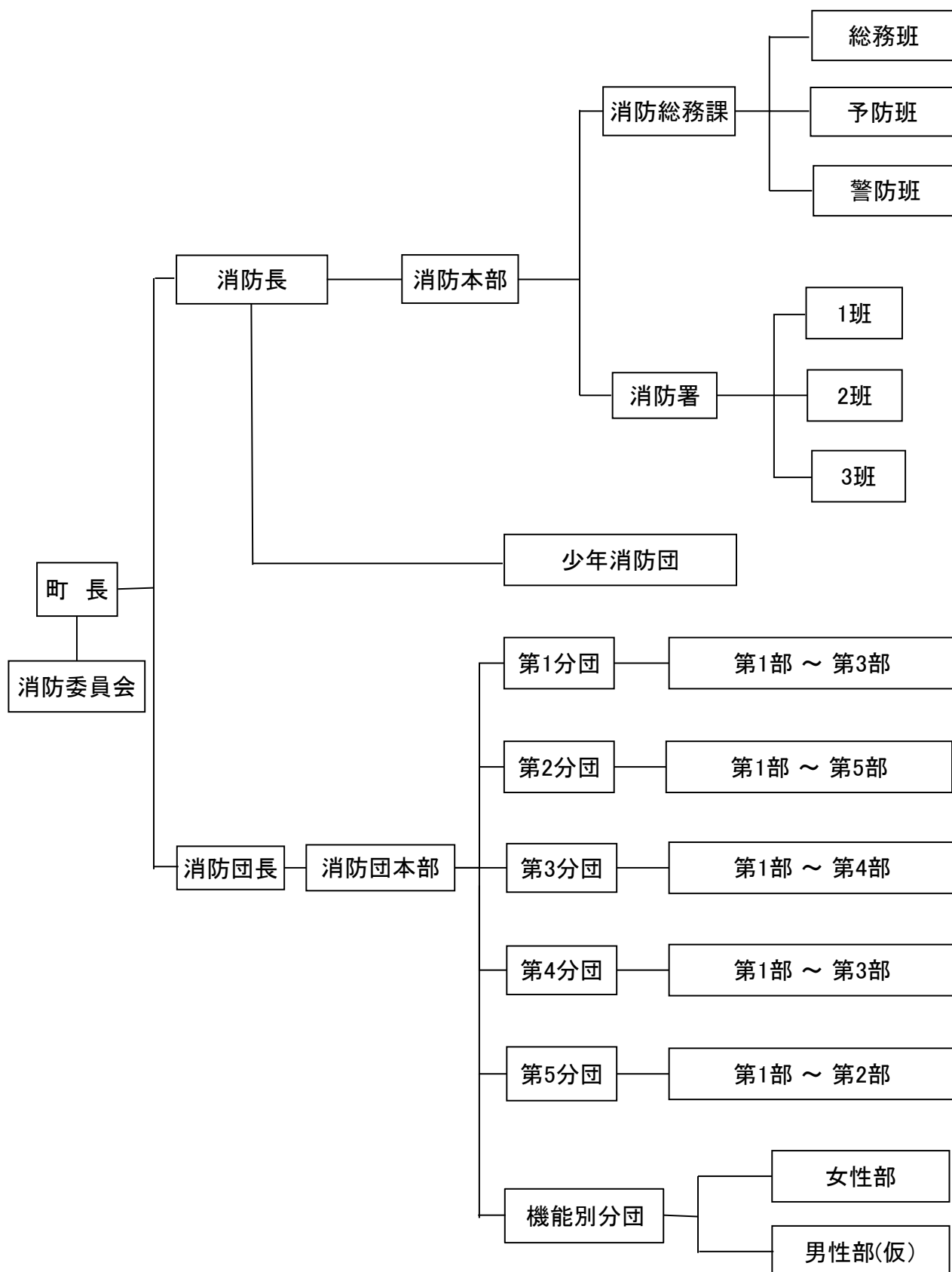
年	月	概	要
昭和63	12	無線電話装置移動局(さかえ2)を設置 (役場分団タンク車に設置)	
平成元	4	職員23名となる	
	10	栄町防災行政無線 平成元年度分(固定系)施設整備工事に着手(親局1局、屋外拡声子局14局、戸別受信機35台)	
平成2	4	職員25名となる	
	8	栄町防災行政無線 平成2年度分(固定系)施設整備工事に着手(屋外拡声子局25局、戸別受信機35台)	
平成3	4	職員28名となる	
	8	栄町防災行政無線 平成3年度分(固定系)施設整備工事に着手(屋外拡声子局15局、戸別受信機35台)	
	12	栄町防災行政無線局 全局運用開始(屋外拡声子局54局、戸別受信機105台) 消防ポンプ自動車CD-I型を購入(さかえ1)	
平成4	4	職員31名となる	
	5	指揮車更新(さかえ指揮1) 栄町防災行政無線 平成4年度分(固定系)施設整備工事に着手(戸別受信機50台)	
平成5	1	職員33名となる	
	4	職員38名となる	
	11	水槽付消防ポンプ自動車II型を購入 無線電話装置移動局(さかえ3)を水槽付消防ポンプ自動車に設置	
平成6	4	自治大臣より消防本部及び消防署を置かなければならない町村として指定を受ける 町独自水出し操法を開始 職員41名となる	
	10	栄町消防本部・栄町消防署を安食台1丁目2番に設ける 初代消防長に白石明氏(消防署長事務取扱)就任	
	12	千葉県消防設備保守協会より広報車(カローラバン)1台寄贈される	
平成7	2	消防庁舎用地取得	
	4	職員42名となる	
	5	栄町危険物安全協会設立	
平成8	2	救急車(2B型)を準高規格に更新(救急さかえ1)	
	4	職員43名となる 第9代消防団長に石井清輝氏就任	
	6	第21回消防救助技術千葉県大会に初出場	
平成9	2	第38回千葉県消防職員意見発表会に初出場	
	4	職員45名となる	
平成10	4	職員47名となる	
	10	消防庁舎起工式	
平成11	4	職員49名となる	
	11	消防庁舎建築及び設備工事完了	
	12	消防庁舎にて業務開始	

年	月	概	要
平成11	12	資機材搬送車を購入(さかえ5)	
平成12	1	救急車(2B型)を高規格救急車に更新(救急さかえ2)	
		医療法人社団育成會 北総栄病院に心電図受信装置を設置	
		救急救命士による救急活動を開始する	
	2	栄町消防庁舎・出津高規格堤防竣工式	
		消防団員条例定数352名とする	
	3	成田市消防本部が成田赤十字病院に設置した心電図受信装置の使用について協定を締結	
		佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部が日本医科大学附属千葉北総病院に設置した心電図受信装置の使用について協定を締結	
		役場分団を解散する	
	4	PA連携活動を開始	
	7	第2代消防長に鈴木薫氏就任	
平成13	2	小型動力ポンプ付水槽車を購入(さかえ6)	
平成14	2	救助工作車Ⅱ型(さかえ7)及び救助用ボートを購入	
	4	職員47名となる	
	7	第3代消防長に鈴木萬滋氏就任	
平成15	3	消防ポンプ自動車を更新(さかえ1)	
平成16	2	準高規格救急車を高規格救急車に更新(救急さかえ1)	
	4	三部制を施行する	
	7	第4代消防長に白石明氏就任	
平成17	4	緊急消防援助隊に登録	
平成18	4	第10代消防団長に大久保靖夫氏就任	
		職員49名となる	
平成20	4	第11代消防団長に小川義人氏就任	
		職員48名となる	
	5	利根川水系連合(1都6県)水防演習を出津地先で挙行する	
	7	第5代消防長に鳥羽功雄氏就任	
		職員46名となる	
平成21	4	第6代消防長に大澤幸男氏就任	
平成22	4	職員45名となる	
		機能別分団竜角寺台部発足	
平成23	4	第7代消防長に浅野正治氏就任	
		職員47名となる	
平成24	4	第8代消防長に鈴木薫氏就任	
		職員46名となる	
	11	第12代消防団長に芝野照敏氏就任	
平成25	4	第9代消防長に奥野三男氏就任	
		ちば消防共同指令センターにて通信指令業務の共同運用を開始	
平成26	2	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型を更新(栄水槽1)	
	4	職員47名となる	
平成27	3	高規格救急自動車を更新(栄救急2)	
	4	職員45名となる	

年	月	概	要
平成28	4	第10代消防長に杉田昭一氏就任 職員47名となる 第13代消防団長に大野徹夫氏就任	
	12	公益財団法人日本消防協会より防災活動車(ワンボックス型)1台寄贈される	
平成29	1	少年消防団発足	
	4	職員48名となる	
平成30	4	機能別消防分団女性部発足 栄本部指揮1(デリカ)及び救助用ボートを更新	
	5	利根川水系連合(1都6県)水防演習を出津地先で挙げる	
平成31	4	職員49名となる 第14代消防団長に根本貴博氏就任	
令和2	4	職員46名となる 組織改変により、防災班を町長部局に移管し、消防防災課を消防総務課に変更	
	10	高規格救急自動車を購入(栄救急1)	
令和3	4	第11代消防長に大須賀利明氏就任	
令和4	3	災害対応特殊消防ポンプ自動車を購入(栄ポンプ1)	
	4	第12代消防長に鈴木孝義氏就任 職員49名となる 第4分団第1部、第4分団第2部、第4分団第3部が統合し、第4分団第1部となる。 第5分団第3部、第5分団第4部、第5分団第4部、第5分団第6部が統合し、第4分団第2部となる	

消防組織図

(令和4年4月1日現在)



消防財政

(5年間の状況)

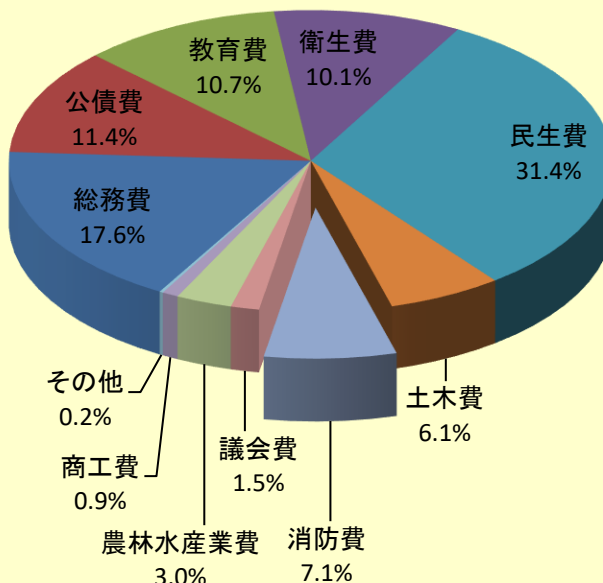
(単位:千円)

年度 \ 区分	常 備	非常備	施 設	水 防	防災対策費	計
平成30年	396,508	48,783	0	6,660	33,932	485,883
令和元年	460,993	35,885	0	2,653	19,015	518,546
令和2年	455,786	21,791	0	5,656	114,659	597,892
令和3年	444,516	21,222	0	2,443	11,418	479,599
令和4年	448,345	24,423	0	2,651	20,963	496,382

〈令和4年度一般会計〉

(単位:千円)

区分	予算額
総務費	1,235,471
公債費	798,054
教育費	751,422
衛生費	707,622
民生費	2,203,836
土木費	429,280
消防費	496,382
議会費	106,575
農林水産業費	210,444
商工費	61,845
その他	13,269
合 計	7,014,200



班 名	分掌事務
総務班	消防組織、機構その他重要事項の調査研究及び起案立案に関すること。
	消防財産の維持管理に関すること。
	予算の執行管理及び調製に関すること。
	規程等の制定改廃に関すること。
	消防職員の任免、分限、賞罰、給与その他人事に関すること。
	公印の管守に関すること。
	公告式に関すること。
	消防職員の研修に関すること。
	文書の收受、発送、整理及び保存に関すること。
	消防職員の被服等の貸与品に関すること。
	消防職員の福利厚生、安全及び健康管理に関すること。
	消防職員の公務災害補償に関すること。
	消防庁舎等の整備に関すること。
	消防職員の勤務時間その他勤務条件に関すること。
	消防職員の人事評価に関すること。
	消防職委員会及び職場改善に関すること。
	消防委員会に関すること。
	消防団に関すること。
	他の班の所掌に属しない事項に関すること。
予防班	防火思想の普及啓発に関すること。
	防火管理及び防災管理に関すること。
	予防査察に関すること。
	消防用設備等の設置指導及び検査に関すること。
	建築確認等の同意に関すること。
	火災の原因及び火災による損害の調査並びにり災証明に関すること。
	火災予防上の届出及び調査指導に関すること。
	火災統計に関すること。
	火災予防広報に関すること。
	住宅防火の推進に関すること。
	講習会及び試験等に関すること。
	危険物施設の規制に係る許可、認可及び承認等に関すること。
	液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律(昭和42年法律第149号)に基づく意見書の提出に関すること。
	危険物安全協会の指導育成に関すること。
	その他予防に関すること。

班 名	分掌事務
警防班	消防車両及び消防水利の整備計画に関すること。
	消防資器材の整備及び管理に関すること。
	消防応援協定に関すること。
	緊急消防援助隊に関すること。
	訓練及び技術指導に関すること。
	機関員の育成及び技能管理に関すること。
	救急業務及びその高度化に関すること。
	応急手当の普及啓発に関すること。
	メディカルコントロール協議会に関すること。
	救助業務に関すること。
	災害現場での安全管理及び防ぎょ活動に関すること。
	消防計画及び警防計画に関すること。
	通信機器材の保守及び管理並びに整備に関すること。
	消防通信の運用及び技術指導に関すること。
	ちば消防共同指令センターに関すること。
	消防に係る統計に関すること。
	救急業務に係る証明に関すること。
	その他警防に関すること。

消防職員配置状況

(令和4年4月1日現在)

階級 所属		消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	その他 職 員	計
消 防 本 部	消 防 長	1							1
	消防総務課長		1						1
	課長補佐		1						1
	総 務 班		1	1	1		1		4
	予 防 班		1	1					2
	警 防 班		1				1		2
	小 計	1	5	2	1		2		11
消 防 署	消防署長		1						1
	消防副署長		3						3
	1 班		2	3	1	3	2		11
	2 班		1	4	2	1	3		11
	3 班		1	5	1	2	2		11
	小 計		8	12	4	6	7		37
合 計		1	13	14	5	6	9		48

予 防 編



火災予防運動における住宅防火の推進
～令和2年度から開始した住宅防火機器取付支援制度～

令和3年中、当町における出火件数は7件、その内訳は建物火災が3件・その他火災が4件となっています。

全国的な火災実態の傾向では、たばこによるものが多く、町民にそれらに対する一層の防止策や進展する高齢化社会に伴う火災予防対策として、住宅防火機器(住宅用火災警報器・簡易型感震ブレーカー)の設置を積極的に指導し、普及促進を図っていくことが必要です。

火災発生状況の推移

(過去10年間)

区分		年別	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年
火災種別 (件数)	建物		2	1	4	2	4	2	1	3	1	3
	林野				1		1	2			1	0
	車両		1	1	1		1				1	0
	その他		2	6	5	1	1	5	2	3	1	4
	合計		5	8	11	3	7	9	3	6	4	7
焼損棟数 (棟)	全焼		4		1	1	3	3	1	3	1	2
	半焼						1	1		2	1	0
	部分焼		1		3	1	1			3		2
	ぼや		1	1			1	2	3	1		1
	合計		6	1	4	2	6	6	4	9	2	5
り災世帯 (世帯数)			5		3	1	2	5	2	6	1	5
り災人員 (人数)			11		5	2	2	13	6	12	2	8
死傷者等	死者 (人)		1				1	1	1		1	2
	負傷者 (人)							1		1		0
焼損面積	建物 (㎡)		190	2	48	120	390	428	273	254	255	323
	車両 (台)		1	1	1		1	2			1	0
	その他 (a)		17	13	126		10	6	2,912		65	6
損害額 (千円)	建物		36,686		2,954	11,748	10,956	27,217	11,155	6,724	4,316	28,803
	林野											
	車両		59	700			300				15	
	その他							1,071				
	合計		36,745	700	2,954	11,748	11,256	28,288	11,155	6,724	4,331	28,803

防火対象物の現況及び査察状況

(令和4年4月1日現在)

項別	区分	防火対象物の用途	防火対象物数	査察状況
1	イ	劇場・観覧場		
	ロ	公会堂・集会場	42	
2	イ	キャバレー・カフェ等		
	ロ	遊技場・ダンスホール		
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等		
	ニ	カラオケボックスその他遊興のための設備又は物品を個室において客に利用させる役務を提供する店舗		
3	イ	待合・料理店	1	
	ロ	飲食店	21	2
4		百貨店又はマーケット	27	
5	イ	旅館・ホテル		
	ロ	寄宿舍・共同住宅	115	3
6	イ	病院・診療所	5	
	ロ	各種福祉施設	7	
	ハ	老人デイサービスセンター・老人福祉センター・老人介護支援センター・保育所等	9	1
	ニ	幼稚園・特別支援学校	3	
7		小・中・高・大学・各種学校	5	
8		図書館・博物館	1	
9	イ	熱気浴場・蒸気浴場		
	ロ	公衆浴場		
10		車両の停車場・船舶若しくは航空機の発着場	1	
11		神社・寺院・教会	3	
12	イ	工場・作業場	26	29
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ		
13	イ	自動車車庫・駐車場	1	
	ロ	飛行機等の格納庫		
14		倉庫	15	2
15		全各項に該当しない事業所	45	6
16	イ	複合用途防火対象物のうちその一部が1項～4項まで、5項イ、6項又は9項イに掲げる防火対象の用途に供されているもの	20	5
	ロ	イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	8	
17		重要文化財		
18		延長50m以上のアーケード		
19		市町村の指定する山林		
20		自治省で定める舟車		
合 計			355	48

危険物施設数量別設置状況

(令和4年4月1日現在)

区 分		製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所						合 計	
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	第 一 類 販 売 取 扱 所	第 二 類 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所		小 計
計			2	1	1	9		29		42	6				8	14	56
指 定 数 量 別	5倍以下		2		1	2		29		34					2	2	36
	5倍を超え 10倍以下			1						1					1	1	2
	10倍を超え 50倍以下					4				4	1				5	6	10
	50倍を超え 100倍以下					1				1	1					1	2
	100倍を超え 150倍以下																
	150倍を超え 200倍以下					1				1							1
	200倍を超え 1000倍以下					1				1	4					4	5
	1000倍を超 えるもの																
類 別	第1類																
	第2類																
	第3類																
	第4類		2	1	1	9		29		42	6				8	14	56
	第5類																
	第6類																

警 防 編

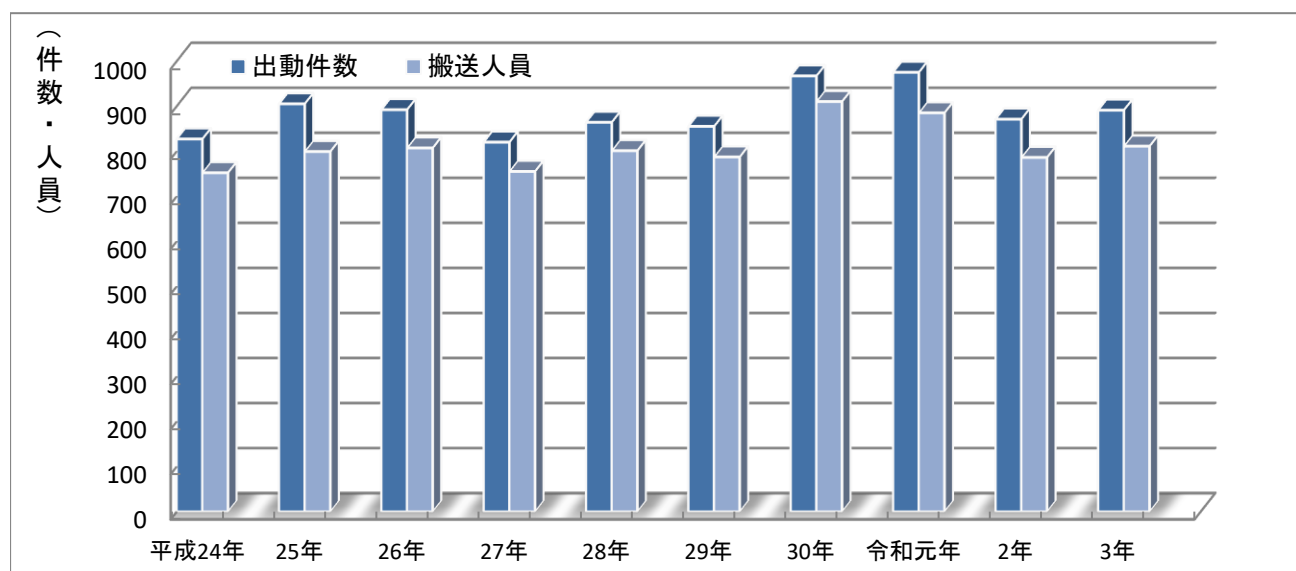


令和3年度に購入した災害対応特殊消防ポンプ自動車(CD-1型)

救急活動状況の推移

(過去10年間)

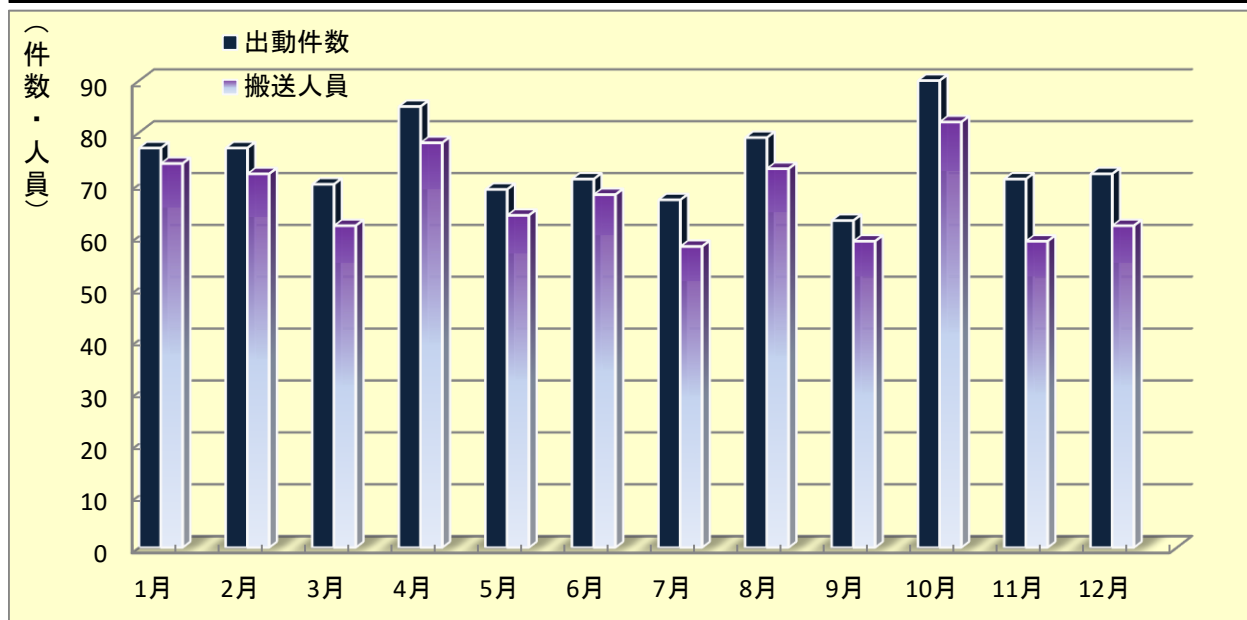
区 分		救 急 事 故 種 別												合 計
		火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その他		
												転 院 搬 送	そ の 他	
平成 24年	出動件数	2		3	64	6	2	119	3	12	575	41		827
	搬送人員				61	6	2	112	2	3	525	41		752
平成 25年	出動件数	14		4	76	10	6	116	4	13	617	42	3	905
	搬送人員				72	10	4	95	4	9	562	43		799
平成 26年	出動件数	15		4	72	5	5	113	6	19	602	50	1	892
	搬送人員				81	5	5	109	6	11	540	50		807
平成 27年	出動件数	4		4	71	6	3	125	2	10	554	39	2	820
	搬送人員	1		2	69	6	3	116	2	4	513	39		755
平成 28年	出動件数	11		1	56	8	4	104	8	12	618	40	2	864
	搬送人員	2		2	59	7	4	99	8	8	572	40		801
平成 29年	出動件数	12		2	65	4	2	118	4	6	599	42	1	855
	搬送人員				66	4	2	115	3	4	551	42		787
平成 30年	出動件数	3			55	10	2	136	5	8	672	71	5	967
	搬送人員				65	9	2	131	4	5	623	71		910
令和 元年	出動件数	12		1	65	8	9	137	2	11	665	56	9	975
	搬送人員				65	8	8	133	1	7	606	56	1	885
令和 2年	出動件数	5		3	47	4	2	127	4	17	617	40	5	871
	搬送人員			1	45	4	2	120	3	8	563	40		786
令和 3年	出動件数	8			36	10	4	135	5	8	633	44	8	891
	搬送人員	1			44	9	4	128	1	4	576	44		811



月別出動件数及び搬送人員

(令和3年1月1日～令和3年12月31日)

区 分		救 急 事 故 種 別											合 計	
		火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その他		
												転 院 搬 送		そ の 他
1月	出動件数				2	1		8	1		62	3		77
	搬送人員				2	1		8	1		59	3		74
2月	出動件数	1			1			12		4	56	3		77
	搬送人員				1			12		2	54	3		72
3月	出動件数				3		1	8	1		56	1		70
	搬送人員				3		1	8			49	1		62
4月	出動件数				2			14	1	1	61	4	2	85
	搬送人員				3			13		1	57	4		78
5月	出動件数				2			15	1	2	44	5		69
	搬送人員				2			14		1	42	5		64
6月	出動件数	1			2	1		11			51	5		71
	搬送人員				2	1		11			49	5		68
7月	出動件数				4	1	1	5			53	3		67
	搬送人員				4	1	1	4			45	3		58
8月	出動件数				8	1		13	1	1	51	4		79
	搬送人員				13	1		11			44	4		73
9月	出動件数	2			2	1	2	10			43	3		63
	搬送人員				2	1	2	9			42	3		59
10月	出動件数	1			8	2		13			62	4		90
	搬送人員	1			10	1		13			53	4		82
11月	出動件数	2			1	1		10			50	4	3	71
	搬送人員				1	1		9			44	4		59
12月	出動件数	1			1	2		16			44	5	3	72
	搬送人員				1	2		16			38	5		62
合 計	出動件数	8			36	10	4	135	5	8	633	44	8	891
	搬送人員	1			44	9	4	128	1	4	576	44		811



月別救急支援・PA連携出動及びドクターヘリ要請件数

(令和3年1月1日～令和3年12月31日)

区 分		救 急 事 故 種 別												合 計
		火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その他		
												転院 搬送	そ の 他	
1月	支援・PA出動				2						14			16
	Drヘリ要請													
2月	支援・PA出動				2	1				2	14			19
	Drヘリ要請										1			1
3月	支援・PA出動				1			2			9			12
	Drヘリ要請													
4月	支援・PA出動				1			1			12			14
	Drヘリ要請							1						1
5月	支援・PA出動				1			3	1		4			9
	Drヘリ要請							1						1
6月	支援・PA出動				1	2					10			13
	Drヘリ要請					1								1
7月	支援・PA出動				1						8			9
	Drヘリ要請													
8月	支援・PA出動				3			1		1	9			14
	Drヘリ要請				1						1			2
9月	支援・PA出動				1						4			5
	Drヘリ要請													
10月	支援・PA出動	1			3			1			8			13
	Drヘリ要請	1												1
11月	支援・PA出動				1			2			10			13
	Drヘリ要請													
12月	支援・PA出動					1					9			10
	Drヘリ要請													
合計	支援・PA出動	1			17	4		10	1	3	111			147
	Drヘリ要請	1			1	1		2			2			7

救助出動状況

(過去10年間)

区 分		事 故 種 別									
		火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
平成24年	出動件数		3	3							6
	活動件数		3	3							6
平成25年	出動件数		2	5		1				3	11
	活動件数		2	4		1				1	8
平成26年	出動件数		7	3						7	17
	活動件数		6	2						1	9
平成27年	出動件数		5	4						6	15
	活動件数		2	2						3	7
平成28年	出動件数		4	1						4	9
	活動件数		3	1						2	6
平成29年	出動件数		9	2						6	17
	活動件数		5							3	8
平成30年	出動件数		3							9	12
	活動件数		2							4	6
令和元年	出動件数		6	1						11	18
	活動件数		3	1						6	10
令和2年	出動件数		1	6						10	17
	活動件数		1	6						9	16
令和3年	出動件数		1			1	3			11	16
	活動件数		1			1	2			8	12

救助資機材保有状況

(令和4年4月1日現在)

品 名	数 量	品 名	数 量
一般救助用器具		測定用器具	
かぎ付きはしご	3	可燃性ガス測定器	2
二連はしご	2	有毒ガス測定器	2
三連はしご	4	放射線測定器	3
金属製折りたたみはしご	1	隊員保護用器具	
空気式救助マット	1	陽圧式化学防護服	4
救命索発射銃	1	防塵メガネ	3
サバイバースリング・救助用縛帯	11	防毒マスク	17
平坦架	2	耐電手袋	8
バスケット担架	1	耐電帽	2
重量物排除用器具		耐電衣	2
油圧ジャッキ	2	耐電ズボン	2
大型油圧スプレッダー	1	耐電長靴	2
可搬式ウインチ	5	呼吸保護用器具	
マット式空気ジャッキ(一式)	1	空気呼吸器	19
マンホール救助器具	1	要救助者用マスク	2
切断用器具		酸素呼吸器	2
大型油圧切断機	1	簡易呼吸器	2
エンジンカッター	4	送排風機	1
ガス溶断器	1	水難救助用器具	
チェーンソー	9	救助用ボート	1
鉄線カッター	5	船外機	3
エアソー	1	救命胴衣	12
空気切断機	1	救命浮環	9
電動レシプロソー	2	浮標	1
電動式油圧コンビツール	1	その他の救助用器具	
手動式コンビツール	1	小型赤外線(熱画像)カメラ	2
破壊用器具		携帯無線機	14
万能斧	11	携帯警報器	5
ハンマー	3	携帯拡声器	5
掛矢	2	車両移動器具	2
削岩機	1	緩降機	1
ハンマドリル	1	応急処置セット	1
携帯用コンクリート破壊器具	2	ハイブリッド車対応絶縁工具	1

消防本部(署)車両配備状況

(令和4年4月1日現在)

区分 車両 名称	車種・仕様・用途	メーカー	購入年月日	級別	ポンプ・主要装置			経過 年数	配置 場所
					製作所	形 式	水 槽		
栄本部指揮1	指揮車	三菱	平成28年 12月	—	—	—	—	5	消防本部
キャラバン	事務連絡車	日産	平成14年 10月	—	—	—	—	19	消防本部
ヴェルファイア	事務連絡車	トヨタ	平成24年 3月	—	—	—	—	10	消防本部
栄ポンプ1	災害対応特殊消防ポンプ自動車(CD-1型)	日野	令和4年 3月	A-2	モリタ	MZI	600L	0	消防署
栄水槽1	水槽付 消防ポンプ自動車(Ⅱ型)	日野	平成26年 2月	A-2	モリタ	MZI	2,000L	8	消防署
栄資材1	資機材搬送車	三菱	平成11年12月	—	—	—	—	22	消防署
栄給水1	小型動力ポンプ付水槽車(Ⅰ型)	日野	平成13年 1月	B-2	ジーエム いちほら	GM2H2	5,000L	21	消防署
栄救助1	救助工作車(Ⅱ型)	日野	平成14年 2月	—	モリタ	—	—	20	消防署
栄救急1	高規格救急自動車	日産	令和 2年 9月	—	オートワークス 京都	—	—	1	消防署
栄救急2	高規格救急自動車	日産	平成27年 2月	—	オートワークス 京都	—	—	7	消防署
栄救急3	高規格救急自動車	トヨタ	平成16年 2月	—	トヨタテクノ クラフト	—	—	18	消防署

消防無線施設

(令和4年4月1日現在)

		名 称	設置場所	型 式	出 力
陸上移動局	固定型	栄本部501	消防本部	CM-2010DF	5W
	可搬型	栄本部指揮1	消防本部	CM-2010SM	5W
	車載型	栄救急1	消防署	CM-2010D	5W
		栄救急2	消防署	CM-2010D	5W
		栄救急3	消防署	CM-2010D	5W
		栄ポンプ1	消防署	CM-2010D	5W
		栄水槽1	消防署	CM-2010D	5W
		栄救助1	消防署	CM-2010D	5W
		栄資材1	消防署	CM-2010D	5W
		栄給水1	消防署	CM-2010D	5W
		栄201	消防署	CP-2010P	5W
	携帯型	栄202	消防署	CP-2010P	5W
		栄203	消防署	CP-2010P	5W
		栄204	消防署	CP-2010P	5W
		栄205	消防署	CP-2010P	5W
		栄206	消防本部	CP-2010P	5W
		栄207	消防署	CP-2011P	5W
署活系	携帯型	栄401	消防署	CP-4069-TH	1W
		栄402	消防署	CP-4069-TH	1W
		栄403	消防署	CP-4069-TH	1W
		栄404	消防署	CP-4069-TH	1W
		栄405	消防署	CP-4069-TH	1W
		栄406	消防署	CP-4069-TH	1W
		栄407	消防署	CP-4069-TH	1W
		栄408	消防本部	CP-4069-TH	1W

消防水利状況

(令和4年4月1日現在)

区分 地区	消火栓	防火水槽							プール	河川	その他
		公設					私設	合計			
		60m ³ 以上 100m ³ 未満	40m ³ 以上 60m ³ 未満	20m ³ 以上 40m ³ 未満	20m ³ 未満	小計	40m ³ 以上 60m ³ 未満				
安食台	47		11			11		11		7	7
田中	2		2			2		2			
松ヶ丘	6		1			1		1			
酒直台	15		6			6		6			
竜角寺台	24		8			8		8	1		
南ヶ丘	13		3			3		3			
安食1区	19		5	3	1	9	2	11			
安食2区	17	2	3	4	2	11		11			
安食3区	5		8	5	1	14		14			
安食1丁目～3丁目	16		4			4		4			
須賀	2		3	6		9		9			
須賀新田	3		1	4		5		5			
北辺田	2		5	1	3	9		9			
矢口	6		2	6	3	11		11			
矢口神明	13						3	3			
興津			4	5		9		9			
麻生			5		4	9		9			
龍角寺	2		3	2	4	9		9			
酒直	6		8	3	6	17	1	18			
南部			2			2		2			
和田	7		2	6		8	1	9			
押付	2		1	4		5		5			
南・曽根	4		6	1		7		7			
布鎌酒直・出津	4		1	7		8		8			
西			3	2		5		5			
布太	2		3	4		7		7			
三和			1	1		2		2			
中谷			3	1		4		4			
北	2		4	1		5		5			
請方	2		8	6		14		14			
計	221	2	116	72	24	214	7	221	1	7	7

応援協定等の状況

千葉県広域消防相互応援協定

平成 4 年 4 月 1 日

千葉県下の市町村及び一部事務組合が大規模災害及び産業災害その他の災害の予防、鎮圧に万全を期し、併せて民心の安定を図るため相互応援体制を確立し、不測の事態に対処することを目的として締結した。

水難事故発生時における船舶等の協力に関する協定書

平成 17 年 7 月 5 日

栄町内に水難事故が発生した場合、印旛沼漁業協同組合栄支部との間において、相互に協力して水難事故の早期解決を図ることを目的に締結した。

栄町・稲敷地方広域市町村圏事務組合消防相互応援協定

平成 18 年 3 月 6 日

若草大橋橋上で発生した災害に対して、消防相互の応援をすることを目的に締結した。

成田国際空港消防相互応援協定

平成 18 年 7 月 12 日

成田市、香取広域市町村圏事務組合、佐倉市八街市酒々井町消防組合、山武郡市広域行政組合、匝瑳市横芝光町消防組合、印西地区消防組合、四街道市、栄町及び富里市並びに成田国際空港株式会社と、その周辺における航空機災害の消火救難活動に関する相互応援協定に締結した。

栄町・印西地区消防組合消防相互応援協定

平成 19 年 3 月 26 日

栄町の指定した区域及び印西地区消防組合の指定した区域における、消防相互の応援をすることを目的に締結した。

鉄道災害時における鉄道軌道事業者と消防機関との連携に関する協定書

平成 21 年 3 月 31 日

鉄道災害が発生し、又は発生するおそれがある場合、千葉県内の消防本部と鉄道事業者との相互連携により、安全かつ迅速な消防活動と公共交通機関としての列車運行の早期復旧を図る目的に締結した。

ラピッドカー運用に関する協定書

平成 22 年 3 月 17 日

日本医科大学千葉北総病院と成田市、佐倉市八街市酒々井町消防組合、印西地区消防組合、四街道市、富里市、栄町は、日医大千葉北総病院が保有する千葉県ラピッドカーの運用に関して協定を締結した。

成田市・栄町消防相互応援協定

平成 25 年 1 月 25 日

成田市・栄町相互の管轄区域に接する地域及びその周辺における、火災・救急・その他の災害に対して消防相互の応援をすること及び、ちば消防共同指令センターにおける円滑な指令・出動を図る為締結した。

新型コロナウイルス感染症患者等の移送に関する協定書

令和 2 年 4 月 1 日

新型コロナウイルス感染症の患者の症状から救急搬送が適当である場合や同一保健所管内で同時に複数の患者等が発生するなどの事態が生じた場合において、円滑に患者等を移送し、感染症のまん延防止を図ることを目的に締結した

災害時における消防用水等の供給支援に関する協定書

令和 4 年 2 月 14 日

災害時に必要な消防用水等を確保するため、千葉県北総生コンクリート協同組合と協定を締結した。

消防団編



印旛支部消防操法大会

消防団員は、郷土愛護の精神に基づき地域住民の生命、身体、財産を災害から保護するため、昼夜を問わず旺盛な消防精神により、献身的な奉仕活動を行っています。

自分たちの地域は自分たちで守るという理念に基づき火災のみならず、地震や風水害等の大規模災害時においても消防団員の果たす役割は非常に大きいものがあり、その役割を果たすための訓練等に励んでおります。

栄町消防団員は令和4年4月1日現在、5分団17部及び機能別分団女性部他の241名で構成されています。年間事業の中で、規律訓練、操法訓練、ポンプ取扱訓練、水防訓練をはじめとして災害現場に生かせるように訓練しており消防署との連携強化に努めています。

また、機械器具・消防水利の点検、冬季や強風時には火災警戒活動も実施しております。

消防団員報酬(年額)

(令和4年4月1日現在)

(円)

階級 区分	団長	副団長	本部長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	機能別分団
消防団員	160,000	114,000	84,000	63,000	49,000	40,000	38,000	36,500	18,250

消防団員出動報酬

(円)

区分 支給額	単位	災害	警戒	訓練	会議等
1日につき	4時間以上	8,000	3,500	3,500	3,500
	4時間未満	4,000	1,750	1,750	1,750

消防団出動状況

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

区分	災害	警戒	訓練	会議等	合計
出動回数	3	2	1	9	15
出動団員数	55	185	82	429	751

階級別定員数及び実員数

(令和4年4月1日現在)

区分 \ 階級	団長	副団長	分団長 (本部長)	副分 団長	部長	班長	団員	計
定員	1	2	11(6)	5	22	48	239	352
実員	1	2	8(4)	4	18	19	185	241

分団別人員配置状況

(令和4年4月1日現在)

区分 \ 階級	団長	副団長	本部長	分団長	副分 団長	部長	班長	団員	計
本 部	1	2	4						7
第1分団	第1部			1		1	1	12	15
	第2部				1	1	1	12	15
	第3部			1		1	1	11	14
第2分団	第1部					1	1	10	12
	第2部			1		1	1	8	11
	第3部					1	1	5	7
	第4部			1		1	1	6	9
	第5部				1	1	1	12	15
第3分団	第1部					1	1	5	7
	第2部			1		1	1	2	5
	第3部			1		1	1	8	11
	第4部				1	1	1	1	4
第4分団	第1部			1	1	1	1	25	29
	第2部					1	1	33	35
	第3部			1		1	1	7	10
第5分団	第1部					1	1	6	8
	第2部					1	1	4	6
機能別分団	女性部					1	2	16	19
	男性部(仮称)							2	2
合 計	1	2	4	8	4	18	19	185	241

消防団車両保有状況

(令和4年4月1日現在)

配置場所		車種	車両購入年月	メーカー	級別	小型ポンプ 購入年月
第1分団	第1部	消防ポンプ自動車	平成16年12月	日野自動車	A-2級	—
	第2部	消防ポンプ自動車	平成15年 3月	日野自動車	A-2級	—
	第3部	小型動力ポンプ付積載車	平成 4年12月	日産自動車	B-2級	平成 25年11月
第2分団	第1部	消防ポンプ自動車	平成 31年 3月	日野自動車	A-2級	—
	第2部	小型動力ポンプ付積載車	平成 4年12月	日産自動車	B-2級	平成22年 9月
	第3部	消防ポンプ自動車	平成13年 1月	日産自動車	A-2級	—
	第4部	小型動力ポンプ付積載車	平成22年 3月 (総務省消防庁貸付車両)	日産自動車	B-2級	平成22年 3月 (総務省消防庁貸付車両)
	第5部	消防ポンプ自動車	平成16年12月	日野自動車	A-2級	—
第3分団	第1部	小型動力ポンプ付積載車	平成 9年 1月	日産自動車	B-2級	平成 9年 1月
	第2部	小型動力ポンプ付積載車	平成 9年 1月	日産自動車	B-2級	平成28年 1月
	第3部	消防ポンプ自動車	平成 5年10月	イズズ自動車	A-2級	—
	第4部	小型動力ポンプ付積載車	平成 5年11月	日産自動車	B-2級	平成 5年11月
第4分団	第1部	小型動力ポンプ付積載車	平成14年 1月	トヨタ自動車	B-2級	平成14年 1月
		小型動力ポンプ付積載車	平成15年 3月	トヨタ自動車	B-2級	平成15年 3月
		小型動力ポンプ付積載車	昭和58年11月	日産自動車	B-2級	平成元年10月
	第2部	小型動力ポンプ付積載車	昭和58年11月	日産自動車	B-2級	平成 4年12月
		小型動力ポンプ付積載車	昭和58年11月	日産自動車	B-2級	平成元年10月
		小型動力ポンプ付積載車	平成 3年12月	日産自動車	B-2級	平成 29年2月
		消防ポンプ自動車	平成 4年12月	イズズ自動車	A-2級	—
	第3部	小型動力ポンプ付積載車	平成14年 1月	トヨタ自動車	B-2級	平成14年 1月
第5分団	第1部	小型動力ポンプ付積載車	平成5年 11月	日産自動車	B-2級	平成30年2月
	第2部	小型動力ポンプ付積載車	昭和58年11月	日産自動車	B-2級	平成4年12月

消防団施設概要

(令和4年4月1日現在)

名 称		住 所	構 造	建物延べ面積
第1分団	第1部	安食3431-1	鉄骨造2階	107.0㎡
	第2部	安食3647	鉄骨造2階	49.0㎡
	第3部	安食1464-1	鉄骨造平家	49.1㎡
第2分団	第1部	須賀501	木造2階	57.0㎡
	第2部	須賀1969	鉄骨造平家	24.0㎡
	第3部	北辺田87	木造2階	59.8㎡
	第4部	矢口6-1	鉄骨造平家	33.0㎡
	第5部	興津1136	木造2階	57.0㎡
第3分団	第1部	麻生245-1	木造2階	57.0㎡
	第2部	龍角寺131-1	鉄骨造平家	25.0㎡
	第3部	酒直1371	木造2階	25.0㎡
	第4部	酒直299-2	木造2階	57.0㎡
第4分団	第1部	和田336	木造平家	28.0㎡
		押付192	鉄骨造平家	33.9㎡
		布鎌酒直93-2	鉄骨造2階	57.0㎡
	第2部	三和173-6	鉄骨造2階	45.0㎡
		中谷202	木造平家	30.0㎡
		北379	鉄骨造2階	57.9㎡
		請方字島田311-2	木造2階	57.9㎡
	第3部	南110	鉄骨造2階	61.0㎡
第5分団	第1部	西字西耕地593-3	鉄骨造平家	53.2㎡
	第2部	布太38	木造2階	61.0㎡

令和4年版
消 防 年 報

発行 令和 4 年 9 月

編集 栄町消防本部消防総務課警防班

〒270-1546

千葉県印旛郡栄町生板鍋子新田乙 20-71

TEL 0476-95-0119

FAX 0476-95-7630

E-mail: shoubou@town.sakae.chiba.jp